

子ども若者第三の居場所「N a b a り n k」について

1. 背景及び経緯について

子どもは、家庭を基盤として地域や学校などの安全安心な場所・環境において、多くの大人や子ども同士の関わりの中で成長する存在です。

しかし、近年は、共働き家庭やひとり親家庭の増加により家庭における子育ての孤立化が社会問題となる中で、子どもの居場所であった空き地、路地裏等の自由に遊び、過ごせた場所や駄菓子屋などの憩い、集えた場所は減少しつつあります。

子ども若者[※]の成長や生活に欠くことができないはずの「居場所」が無くなることで、他者との関係が失われ、やがて孤独化、孤立化することで、不登校、いじめ、自殺等のあってはならない重大な問題へとつながりかねません。

このような現代の子ども若者を取り巻く背景及び子ども若者の居場所づくりの緊急性、重要性の高まりを踏まえ、子ども若者第三の居場所創生事業により、第6次ばりっこすくすく計画に掲げる「困難を抱える子ども・若者を支援する居場所」「学校や家庭に居づらさを感じる子ども・若者の居場所」「子ども・若者にとってよりよい社会となるために自分たちで意見を出し合える居場所」として、「N a b a り n k」（なばりんく）の開所に向けた準備を現在進めています。

※子ども若者…こども家庭庁の「子どもの居場所づくりに関する指針」において、子どもの居場所づくりの対象となる居場所は、学童期、思春期のみならず、大学生や20代の若者の居場所を含めた概念と定義されていることから、本事業では概ね10歳以上30歳未満の者を子ども若者といいます。

2. 本事業の目的について

本事業では、次に掲げる事項を目的として取り組んでいます。

- (1) 困難を抱える子ども若者の支援
- (2) 表面化していない困難を抱える子ども若者のアウトリーチによる早期発見
- (3) 子ども若者から市や地域への意見表明の場の創出
- (4) 多世代間の交流の促進
- (5) 学校に行きづらさを感じる子どもの居場所の確保

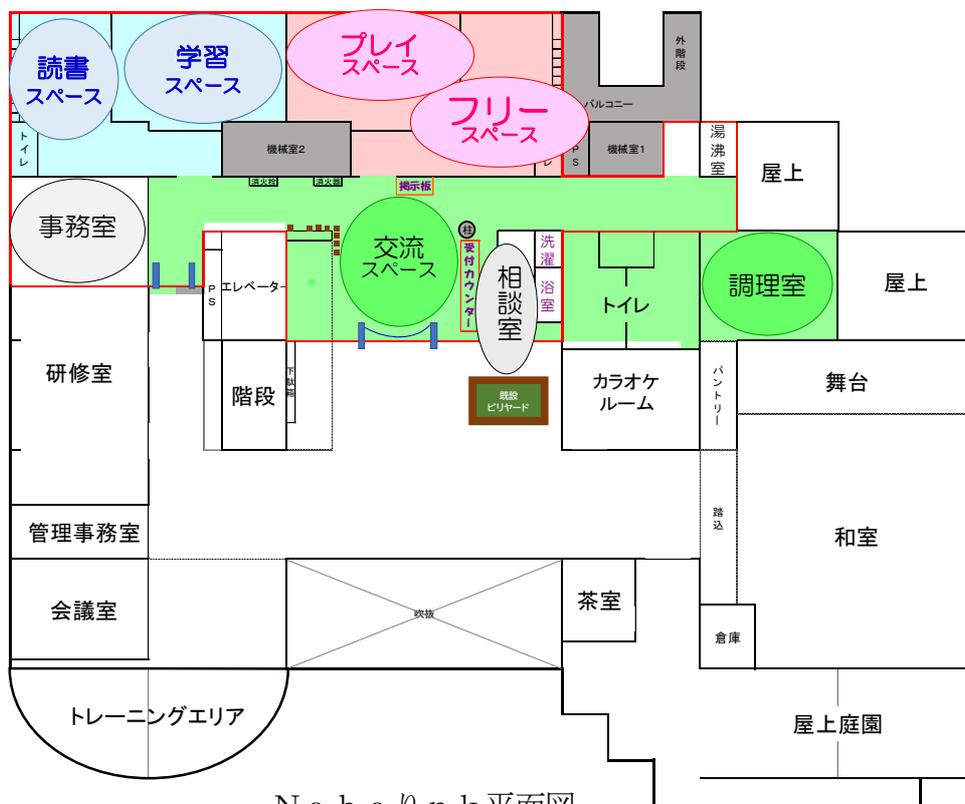
3. N a b a り n k の施設概要について

(1) 場所

名張市総合福祉センターふれあい3階（名張市丸之内79番地）

(2) 設備・機能

- ・フリースペース、プレイスペース イス、ソファ、テーブルを配置
- ・学習スペース、読書スペース 集中して勉強や読書
- ・浴室、洗濯室 身体、頭髮、服装の清潔の保持
- ・調理室 調理、食事が可能
- ・相談室 プライバシーが守られた環境で悩みなどの相談が可能



N a b a り n k 平面図

(3) 開所日時

- ・月曜日から土曜日まで 午前10時から午後8時まで
- ・日曜日（月1回程度） 午前10時から午後5時まで

(4) 利用対象者

- ・概ね10歳以上30歳未満の子ども若者
- ・児童福祉上の支援を必要とする児童及びその保護者

(5) 利用定員

約50人

(6) 利用料金

無料

(7) 職員体制

常勤職員 2 人及び非常勤職員 4 人の交代制勤務により、常時 3 人の職員を配置

4. 施設の利活用のための実行委員会について

(1) 実行委員会の立上げ

利用者の立場から施設の利活用の検討を進めるため、公募により市内の高校生、大学生、社会人等 13 人で構成する「子ども若者のための「もうひとつの居場所」実行委員会」を立ち上げました。

同実行委員会の会議では、互いにアイデアを出し合い、施設を子ども若者がいつも利用したくなる居場所にすることを目指し、次表のとおりこれまでに会議を開催しています。

月日	会議	主な内容
5月26日	第1回 実行委員会	自己紹介、施設見学
7月7日	第2回 実行委員会	グループワーク（居場所でやりたいこと）
8月19日	第3回 実行委員会	愛称、キャッチフレーズ
12月8日	第4回 実行委員会	イベントの企画
12月11日	第5回 実行委員会	広報の方法、チラシ、愛称のロゴ、キャラクター
12月18日	第6回 実行委員会	

(2) 愛称及びキャッチフレーズ

多くの子ども若者に親しみを持ってもらえるよう、施設の愛称及びキャッチフレーズを考案し、名張市内在住もしくは名張市内の学校に通学している小学校4年生～20代の子ども若者の投票により、愛称は「N a b a り n k」（なばりんく）に、キャッチフレーズは「集まれ！みんなの笑顔」にそれぞれ決定しました。

5. 今後の取組について

今後、地域や関係機関との連携を図りながら、N a b a り n k を拠点に本市ぐるみで「居たい」「行きたい」「やってみたい」子ども若者の居場所づくりを推進し、子ども若者が人や地域とつながることで、日々安心して過ごすことができる社会の実現に向けて取り組めます。

なお、本事業は、公益財団法人B&G財団から、施設整備のための開設費（上限50,000千円）及び令和8年度から3年間の運営費（上限14,400千円/年）の助成金の交付を受けて実施しています。

6. N a b a り n k の開所に向けたスケジュールについて

令和8年3月 施設整備工事竣工

備品搬入

4月 プレオープン

6月 本格オープン